

## 越前海岸ワーケーション 体験レポート

### 1. 福井駅に到着

午後4時半頃、自然豊かなまち、福井に着いた。コロナの影響か、平日の仕事時間だからかもしれないが、まちに人はそれほど多くない。だが、テレビの撮影や子供たちの元気な姿が見られる。京福バスで、「清水プラント3」というバス停まで向かい、そして今日利用する宿泊施設「へいよもん」の松平さんと合流し、6時頃に、殿下の宿泊施設に着いた。その後、越前海岸盛り上げ隊の方と会食した。



### 2. 越前海岸盛り上げ隊員による地域案内

2日目、越前海岸盛り上げ隊がリフォームしている「はりいしゃ」という元々鍼灸院だった古民家を訪れた。広く、居心地が良く、デザインも非常に良い。シェアオフィスや民泊として活用が出来たら良いのではと思った。



初めて温泉スタンドというものを見た。ガソリンスタンドのようなもので、コインで支払う。因みに、スタンドの近くには温泉旅館がないので、あればいいと思った。きれいな日本海を間近で眺めることができ、また、福井の美味しい魚やカニを食べることができて、気持ちのいい場所だ。



広い大地で養鶏や山羊飼いをしている。地域資源を活かし、美味しい食材を作られている。勿論、鶏や山羊たちをただ観賞しているだけでも癒される。

薪割りを体験して体を動かした後、滝の下で入るテントサウナは最高だ。



その他、水分神社、鯉の池などもある。

### 3. ワークーションスペース「越廼サテライトオフィス」

広く、綺麗な環境のオフィスで、Wi-fi、プリンターなど必要なインフラ設備が十分に備えてある。グループディスカッションスペース、個人の席など、机や椅子、間仕切りを自由に配置できる。特に、疲れた時に窓を見れば、雄大な海を眺められるのは何よりだ。偶然、地域おこし協力隊員もいて、彼らと地域の体験を語り、楽しい時間を過ごすことができた。



#### 4. 越前海岸盛り上げ隊

越前海岸沿いをもっと元気なまちにしようと活動する、越前海岸盛り上げ隊がいる。彼らはUターンやIターンの方も多く、まちの未来づくりという目標を共有し努力する方々だ。隊員の方を何人か紹介すると、まず、元地域おこし協力隊員の高橋さんは、空き家の活用事業を通じて、地域との交流の拠点づくりなどに取り組んでいる。海の恵みを活かす塩造りや、豊かな自然で農業をしている志野さん。そして、海岸沿いでガラス工房「ワタリガラススタジオ」を営み、越前海岸盛り上げ隊の隊長を務めている長谷川渡さん。また、その自然を活かす林業、漁業・料理等には多くの人が活躍している。都会にはない面白い魅力がある人が多いと感じた。

志野さんが営む「志野製塩所」▽



渡さんのガラス工房「ワタリガラススタジオ」内観▽



## 5. 越前海岸の食

食住は旅行者やワーケーションにとって、不可欠だ。食べ物は海鮮以外に、焼イノシシ肉や、ビーガンの食材で作られた素朴な料理（私はビーガンではないが、「いただき繕」の料理は非常に綺麗に作られており、見た目と味に満足した。）などをいただいた。I ターンした山田夫婦は山の中の古民家を改修し、地域の魅力とともに日本式のおもてなしを発信している。また、そこにいる皆さんも非常に親切であたたかく、楽しい時間を過ごせた。自分もその様なところに飛び込み、過ごしてみたいくなった。



多くの楽しさや印象深い思い出があったが、ここで語りきれない。是非、皆さんも福井市の越前海岸に行って、五感を使って、人・自然・文化を見て、聞いて、触れてみてください。

## ワーケーション参加者へのアドバイス

- あって助かったものは、多くの小さい飲食店や安い農家民宿。  
無くて不便だったものは、車・レンタカー（1人だとバイクでも良いかも）
- 気になったことは、福井駅からのアクセスの不便さ。もう少し越前海岸行きのバスの本数が増えれば良いと思いました。
- ワーケーションされる方のアドバイス：是非、色んな人と話してみてください。  
もしレンタカーで移動する予定であれば、2人以上の方がコスパは良いかと。
- 成果：色んな人と話して交流することで、地域の魅力を更に感じた。また、個人的には研究している内容の情報を多く得られた。
- 意見・感想：海だけでなく、山の中も行ってみてください。車やバイクでの移動が便利です。

## ワーケーション施策に関するフィードバック

- コロナ中のため残念だったが、市役所の方とももっと話が出来たらと思う。海岸に移動しやすくなるような交通手段や取組（レンタカー等の安さ、シェアライド等）があればいいと思う。ワーケーションスペースに近くに、他のインフラ設備、レストラン（小さくても良く、コスパが良ければもっと良い）、カフェとかがあれば、より過ごしやすくなると感じた。安い農家民宿などの情報発信や空き家の利活用を住民と連携して進めれば、長期滞在できる人が増え、ゆくゆくは移住者増加に繋がるのではないかと思う。
- 今後の展開に関して、近い自治体と緊密な連携を取り、そして、越前海岸だけではなく、他の市町等も視野に入れた広地域の連携で、魅力の発信に取り組めば、もっと良くなるかもしれない。もしくは、福井市にしかできない独自のテーマを作り、明確化し発信するのが効果的かも。
- 福井の強みは、海や山を活かしたものかもしれない。山での狩猟、温泉等も魅力的なポイントだと思う。海の魅力を発信するには、例えば、定期的な海鮮料理のフェスティバル（自分の地元には、いくつかの海鮮市場の近くに露天海鮮レストランが多く、人気が高い）を開催してみるものいいと思う。
- ワーケーションをまた実施したいと思う。理由は、心身ともにリフレッシュができ、地域住民との交流などの様々な体験ができる。次は長野、四国、北海道も検討したい。
- 福井市もワーケーションに再度訪れたい。福井の人は親切だった。美味しい魚料理が印象深い（主に福井駅の周辺で食べたが、安くて美味しかった。越前海岸も多くの安い魚飲食店がもっとあると嬉しい）。まだまだ多くの機会や魅力が潜んでいると思うので、また福井市に訪れたいと思う。
- ワーケーションにあたって最も重要な要素：新幹線の費用がかかるのは仕方がないが、長期滞在をするには、過ごしやすい宿泊先と食事のしやすさは必要だ。また勿論、地域の魅力や特徴があること。例えば、豊かな食材、多くのコスパの良い温泉、住宅施設、飲食店とか、季節に合う風景など。